



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月13日

上場会社名 株式会社メディックグループ 上場取引所 東
 コード番号 2369 URL http://www.medibic.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多見 浩次
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 疋田 賢司 (TEL) 03-5439-9691
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	49	4.5	△109	—	△117	—	△138	—
25年12月期第1四半期	47	△41.9	△65	—	△78	—	△82	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △131百万円(—%) 25年12月期第1四半期 △73百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	△4.90	—
25年12月期第1四半期	△3.19	—

四半期連結経営成績に関する注記

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	1,166	1,120	1,120	948	96.0
25年12月期	1,002	949	949	948	94.7

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 1,119百万円 25年12月期 948百万円

四半期連結財政状態に関する注記

四半期連結業績に関する注記

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当の状況に関する注記

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	371	453.7	111	—	51	—	36	—	1.35
通期	600	160.0	30	—	18	—	5	—	0.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	29,059,820株	25年12月期	28,209,820株
26年12月期1Q	一株	25年12月期	一株
26年12月期1Q	28,351,487株	25年12月期1Q	25,859,720株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、デフレ経済の解消と再生を掲げたアベノミクスへの期待感から、円高是正、株価上昇さらには経済マインドの好転などにより日本経済は徐々に回復の兆しを見せながら、消費税の増税を前に駆け込み消費による一時的な経済活性化の様相が見られましたが、今後さらなる消費税の引き上げ等の影響が不透明な状況のまま推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境としましては、政府が推進する医療分野の成長戦略の取り組みのもと、iPS細胞などによる「再生医療」の早期実現、ゲノムコホート研究、バイオバンク基盤整備、「個別化(テーラーメイド)医療」などの取り組みが活発化しました。また、STAP細胞等の話題により一層注目を受けることとなりました。

このような状況のもと当社グループは、検体保管事業による匿名化システムの開発案件や遺伝子解析に関する受託事業、さらには患者様ダイレクトに遺伝子検査事業を展開してまいりました。また、新たな資本政策としてロート製薬株式会社との第三者割当による資本提携により302百万円の資金調達を行いました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績、セグメントの業績は、次のとおりであります。

	実績(千円)	対前年同期増減(千円)
売上高	49,836	2,161 増
営業損失	109,933	43,960 増
経常損失	117,481	39,122 増
四半期純損失	138,910	56,515 増

① 遺伝子事業

遺伝子事業につきましては、『おくすり体質検査』『CYP2D6遺伝子検査』などの販売を直販、クリニック、調剤薬局などを通じて行ってまいりました。

「CYP2D6遺伝子検査」では、「乳がん患者」のみをターゲットとした初めての直販サービスに取り組んでおります。今後はこれらの直販サービス拡大のため、「Cheer Woman」という乳がん患者のみに特化したSNS(ソーシャルネットワークサービス)を通じて、より広く遺伝子検査の市場浸透に取り組む方針であります。

ベースとなるおくすり体質検査は、主に調剤薬局からの引き合いが増えており、各種メディアでの露出効果もあり、薬による副作用発症リスク判定を遺伝子レベルで手軽に行うことができる検査として、徐々にではありますがその有用性が広がってきております。

この結果、遺伝子事業の売上高は26,930千円(報告セグメント変更後に基づく前年同四半期比27.2%減)となったため営業費用をカバーしきれず、セグメント損失(営業損失)は7,280千円(報告セグメント変更後に基づく前年同四半期はセグメント利益1,428千円)となりました。

② 治験支援事業

治験支援事業につきましては、治験コーディネイト業務のターゲットとして婦人科系、消化器系、整形外科系に注力して営業展開を行い、活動してまいりました。

この結果、治験支援事業の売上高は19,203千円(報告セグメント変更後に基づく前年同四半期比79.4%増)、セグメント利益(営業利益)は3,269千円(報告セグメント変更後に基づく前年同四半期比231.3%増)となりました。

③ 再生医療事業

再生医療事業におきましては、前年度に引き続き「脊髄損傷」および「重症肝疾患」犬への脂肪由来間葉系幹細胞の投与治験を全国450の動物病院にて進めております。また、これまで治験において蓄積した幹細胞の分離・培養技術を、自動化する装置の開発に着手しております。

この結果、再生医療事業の売上高は2,760千円(前連結会計年度の第3四半期より連結を開始しているため、前年同四半期の売上高は計上しておりません)、セグメント損失(営業損失)は31,129千円(前連結会計年度の第3四半期より連結を開始しているため、前年同四半期のセグメント損益は計上しておりません)となりました。

④ その他

その他事業におきましては、米国Eleison Pharmaceuticals, LLC. (Eleison社) が開発している抗がん剤 Glufosfamide (グルフォスファミド) の支援に取り組んでおります。

Eleison社は、第Ⅲ相臨床試験申請が遅延しておりましたが、平成25年10月7日付すい臓がん患者に対するグルフォスファミドの安全性と有効性を評価するための第Ⅲ相試験を米国内にて開始したことを発表しました。主要エンドポイントは、全生存期間です。Eleison社は、この第Ⅲ相試験のためのSPA (Special Protocol Assessment) を米国食品医薬品局 (FDA) と協定を締結しており、試験完了後の平成27年にNDA (新薬承認申請) をFDAに申請する計画です。

こうした状況下で当社グループは、Eleison社との共同開発支援パートナーとして、米国およびグローバルでの臨床試験の経過を注視しつつ、アジア地域におけるライセンス販売活動を積極的に進めているところであります。

この結果、その他事業における売上高は943千円 (報告セグメント変更後に基づく前年同四半期の売上高は一千円)、セグメント損失 (営業損失) は23,473千円 (報告セグメント変更後に基づく前年同四半期は営業損失5,492千円) となりました。

また、当第1四半期連結累計期間におきまして、関係会社株式売却益977,336千円を特別利益として、また貸倒引当金繰入による特別損失977,335千円を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,166,414千円となり、前連結会計年度末に比べ164,077千円増加いたしました。主な要因としては、現金及び預金の増加163,956千円、受取手形及び売掛金の増加22,459千円によるものであります。

負債は46,323千円となり、前連結会計年度末に比べ6,900千円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等の減少6,293千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ170,977千円増加し、1,120,091千円となりました。これは四半期純損失138,910千円を計上したものの、第三者割当増資による新株式の発行に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ151,300千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月13日付「平成26年12月期決算短信」において公表いたしました平成26年12月期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、営業損失、経常損失、当期純損失及び営業活動によるキャッシュ・フローにおきまして前連結会計年度まで継続してマイナスを計上しており、当第1四半期連結累計期間におきましても営業損失109,933千円、経常損失117,481千円、四半期純損失138,910千円を計上するに至っており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループにおきましては、当該状況を解消すべく、安定した財務基盤の確立に向けて「事業収益の拡大」を経営の柱として取り組んでおります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	358,895	522,852
受取手形及び売掛金	35,075	57,535
営業投資有価証券	94,277	—
投資損失引当金	△13,635	—
商品及び製品	198	5,115
仕掛品	20,350	11,728
貯蔵品	1,111	—
その他	24,063	26,120
貸倒引当金	△11,340	△22,680
流動資産合計	508,997	600,672
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	72,311	65,034
その他(純額)	19,874	18,971
建設仮勘定	—	21,000
有形固定資産合計	92,185	105,005
無形固定資産		
のれん	324,586	307,503
その他	45,423	46,308
無形固定資産合計	370,009	353,811
投資その他の資産		
その他	35,954	111,735
貸倒引当金	△4,810	△4,810
投資その他の資産合計	31,144	106,925
固定資産合計	493,340	565,742
資産合計	1,002,337	1,166,414
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,102	3,809
未払法人税等	10,108	3,815
1年内返済予定の長期借入金	2,084	2,091
その他	30,788	30,992
流動負債合計	47,084	40,709
固定負債		
長期借入金	6,139	5,613
固定負債合計	6,139	5,613
負債合計	53,223	46,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,775,655	2,926,955
資本剰余金	3,308,852	3,460,152
利益剰余金	△5,126,902	△5,265,812
株主資本合計	957,606	1,121,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,761	△1,433

その他の包括利益累計額合計	△8,761	△1,433
新株予約権	229	229
少数株主持分	39	—
純資産合計	949,113	1,120,091
負債純資産合計	1,002,337	1,166,414

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	47,675	49,836
売上原価	27,935	41,632
売上総利益	19,739	8,204
販売費及び一般管理費	85,711	118,137
営業損失(△)	△65,972	△109,933
営業外収益		
受取利息	11	167
その他	17	495
営業外収益合計	28	662
営業外費用		
支払利息	—	35
支払手数料	9,530	4,300
投資事業組合等損失	2,473	1,700
その他	411	2,174
営業外費用合計	12,415	8,210
経常損失(△)	△78,358	△117,481
特別利益		
関係会社株式売却益	—	977,336
新株予約権戻入益	6,540	—
特別利益合計	6,540	977,336
特別損失		
減損損失	—	9,154
貸倒引当金繰入額	—	977,335
固定資産売却損	—	9,696
特別調査費用	10,000	—
その他	—	1,900
特別損失合計	10,000	998,086
税金等調整前四半期純損失(△)	△81,818	△138,230
法人税、住民税及び事業税	576	693
法人税等合計	576	693
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△82,394	△138,924
少数株主損失(△)	△0	△13
四半期純損失(△)	△82,394	△138,910

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△82,394	△138,924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,326	7,328
その他の包括利益合計	9,326	7,328
四半期包括利益	△73,068	△131,595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△73,067	△131,582
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年3月17日付で、ロート製薬株式会社から第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が151,300千円、資本準備金が151,300千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が2,926,955千円、資本剰余金が3,460,152千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遺伝子事業	治験支援 事業	再生医療 事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,972	10,703	—	—	47,675	—	47,675
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	36,972	10,703	—	—	47,675	—	47,675
セグメント利益又は損失 (△)	1,428	986	—	△5,492	△3,077	△62,894	△65,972

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△62,894千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遺伝子事業	治験支援 事業	再生医療 事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	26,930	19,203	2,760	943	49,836	—	49,836
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	26,930	19,203	2,760	943	49,836	—	49,836
セグメント利益又は損失 (△)	△7,280	3,269	△31,129	△23,473	△58,613	△51,319	△109,933

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△51,319千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他事業」セグメントにおいて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては9,154千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度から当第1四半期連結会計期間にかけての連結子会社の増減に伴い、事業セグメントの区分を見直し、報告セグメントを従来の「バイオマーカー創薬支援事業」「テラーメイド健康管理支援事業」「創薬事業」「投資・投資育成事業」から、「遺伝子事業」「治験支援事業」「再生医療事業」「その他事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。